

学校の歩み

- 明治 6年 第25義校（後の白鳥小学校）として本遠寺で開校
- 40年 熱田町が名古屋市に合併、名古屋市立白鳥尋常小学校と改称
- 大正 9年 校歌できる
- 昭和 11年 鉄筋本校舎・講堂竣工
- 16年 名古屋市白鳥国民学校と改称
- 19年 森後国民学校廃校により、白鳥国民学校へ一部編入
- 21年 白鳥、神戸、伝馬各国民学校が統合され、白鳥国民学校として開校（4月）名古屋市立白鳥小学校発足（9月）校章制定
- 31年 二宮金次郎の石像建立
- 33年 スタジアム式運動場完成
- 34・36年 全国器楽合奏コンクールで最優秀賞受賞
- 37年 交通安全教育で愛知県知事より表彰
- 41年 社会科資料集「わが郷土白鳥」刊行 大口南小学校と姉妹校となる
- 44年 日本初等理科研究大会会場校
- 45年 学校保健優良校受賞
- 47年 開校100周年記念式典及び諸行事挙行「若竹の碑」設置
- 55年 体育館兼講堂改築
- 56年 北校舎増築
- 60年 CBC小学校作文コンクール学校賞受賞
- 61～平成元年 科学工作コンクール学校賞受賞
- 62年 校舎（本校舎・西校舎・南校舎）改築及びプール完成、竣工式
- 63年 創意工夫育成功労学校として科学技術庁長官賞受賞
- 平成 2年 全国小学校社会科研究協議会研究大会 会場校
- 6年 運動場整備工事
- 7年 学校保健特別優良校受賞
- 11年 全国小学校生活科研究協議会研究大会 会場校
- 21年 造形表現・図画工作・美術教育研究全国大会 会場校
- 23年 体育館棟・北校舎改修工事
全日本学校歯科衛生優良校
- 24年 歯科衛生特別優良校受賞 学校保健特別優良校受賞
学力向上パイロット事業実施
- 25年 愛知県学校安全優良校受賞
ICT機器活用モデル実践校（～26年）
- 26年 学校安全文部科学大臣表彰受賞
- 27年 ICTを活用した教育推進事業実施（～28年）
- 28年 全国小学校社会科研究協議会研究大会 会場校
全日本学校歯科保健優良校日本医師会会長賞受賞
学校保健特別優良校受賞
- 29年 ICT活用モデル校
歯科衛生永年優秀校受賞

校章の誕生について



昭和21年9月、児童の作品をもとに制定。白い鳥は平和を表し、二羽は「男女仲良く」を意味している。

裁断橋の縁で 大口南小と姉妹校に



昭和41年、堀尾家の屋敷のあった大口町の学校と姉妹校となり、交流が始まる。



若竹の碑について



たくましく
親を
もしのぐ
力もて

つよく
のびよ
若竹
ただしく

先輩からの子どもたちへの思いが、碑に刻まれている。玄関横の花壇に設置されている。

学区の史跡



七里の渡し 鐘楼



源頼朝誕生の地 誓願寺



七里の渡し 常夜燈



桶狭間の戦いでの勝利のお礼として寄進された信長塚